



播種祭にて神前で献穀米の種をまく献穀者の大田黒さん夫妻（左）と佐藤市長（中）、JA阿蘇原山組合長（右）

献穀事業はじまる

山田地区の水掛棚田で清祓祭・播種祭

きよはらいさい

はしゆさい

献穀事業とは？

毎年11月23日、天皇陛下が執り行われる新嘗祭(新穀を皇祖と神々に供え、自身も食される収穫に対する感謝の祭り)という宮中の重要な行事へお供えする米と粟が、全国の都道府県の農家代表から奉獻される行事のことです。この行事は、五穀豊穰を祈り、収穫への感謝のほか、農業に伴う民俗芸能や文化財の保護育成、農業の大切さを広く認識してもらう役割を果たしています。

令和2年度、熊本県からは阿蘇市の齋田で育てた米・粟を奉獻します。

4月12日には清祓祭・播種祭として、齋田のお祓いと種まきが行われました。5月10日に御田植祭が行われ、今後、11月23日の新嘗祭に向けて一連の神事が行われる予定です。



WebTV アソ

献穀者のご紹介

令和2年度の献穀の米・粟は、山田の大田黒元吉・祥子さん夫妻により栽培されます。夫妻は「先祖代々米を栽培してきたこの地から献上できるのは大変名誉なこと。一方で、責任も強く感じていきます。55年の米作りの集大成として取り組みたい」と抱負を語りました。

献穀齋田のご紹介

献穀齋田は、山田地区にある水掛棚田です。近くの乙川湧水群は毎分20トン以上の湧水で10ヘクタール以上の水田を潤しています。



乙川湧水群が献穀田を潤しています



阿蘇コシヒカリ特 A

阿蘇で初めての快挙！

日本穀物検定協会の2019年産米食味ランキングで、JA阿蘇稲作部会の阿蘇コシヒカリが、阿蘇のお米として初めて最高の特Aを獲得しました。

4月13日、原山組合長と中西洋介稲作部会長が市役所を訪れ、特A獲得を佐藤市長に報告しました。原山組合長は「永年作られているコシヒカリで特Aランクを獲得することは大変難しいこと。熱意と努力の結晶である。今回の特A獲得は阿蘇のお米の販売の促進に寄与し、生産者にとっても生産意欲の向上につながると思う」と喜びを語りました。



特A獲得を報告した原山組合長（左）と中西部会長